

コンプレッサー保証に関する注意事項

本書は製品保証に関する大切な案内です。取り付けマニュアル（本書裏面）、一般整備マニュアル、純正品仕様、コンプレッサー仕様、適用情報、車両情報を作業の前に必ずご確認ください。

エアコンシステムの異常は、コンプレッサーの故障とは限りませんので、AC ループ部品に問題がない事や、温度センサー（サーモスイッチ）に異常がない事等も確認してください。

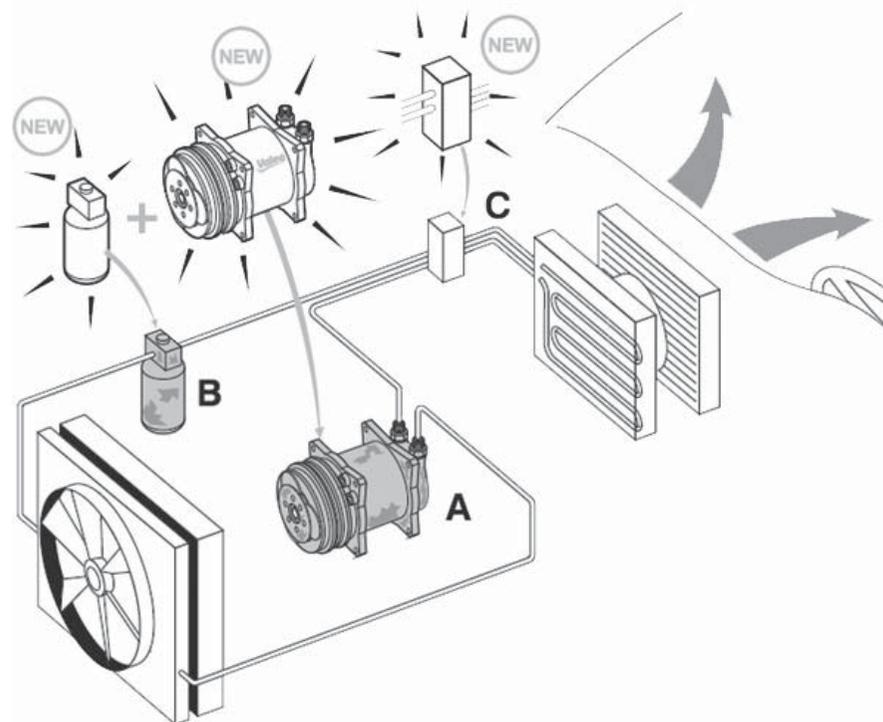
現在装着されているコンプレッサーの不具合原因を確認するまでは新しいコンプレッサーを取り付けしないでください。

新しいコンプレッサーを取り付けた後の不具合発生を避ける為、不具合と思われる AC ループ部品を必ず交換してください。不具合の AC ループ部品をそのまま使用すると、ゴミ、水分等の不純物が新しいコンプレッサーに入り込み、冷房不良、マグネットクラッチの誤作動、コンプレッサーの圧力異常等、初期不具合の要因になりますので、ご注意ください。

新しいコンプレッサーを取り付ける前に…

- レシーバードライヤー（アキュムレーター）を必ず交換してください。
- エクスパンションバルブを必ず交換してください。
- 適切な方法で AC ループを洗浄してください。
 - ★ 洗浄前にコンプレッサー、エクスパンションバルブ、レシーバードライヤー（アキュムレーター）を外してください。
- 注入オイルを分散させる為にコンプレッサーのシャフト（クラッチディスクを通して）を数回回転させてください。
- 3分程クラッチ部を下に向け、シャフトシールにオイルを付けてください。
- 冷媒封入前に、真空引き後真空保持（最短5分間放置）して、気密性の検査を行なってください。その後、再度（目安45分間）真空引きを行なってください。
- コンプレッサー取り付けボルトの締め付けトルク値を注意してください。
- 封入する冷媒ガスの種類、オイルの種類、オイルの量を注意してください。
- 適切なベルトの張力、アライメントを注意してください。

AC ループ簡易構造図



AC ループ部品：

- A. コンプレッサー
- B. レシーバードライヤー
- C. エクスパンションバルブ

不具合時の返品について

コンプレッサーは保証期間内（※）である事、又レシーバードライヤー（アキュムレーター）、エクスパンションバルブを新品交換した事、適正なオイル量・冷媒充填量である事等、整備証明書（整備士署名した修理明細書等、整備場所と整備担当者を判別できる書類）を添付してください。特に初期不具合の返品は、整備証明書がないと、返品受付出来ませんので、ご注意ください。

返品コンプレッサーは交換時に外したサービスキャップを再利用しオイル漏れのないようしっかりと取り付けて、運送中に破損し難い箱に入れて返品してください。

※ 製品保証期間は、取り付けから1年以内又は、10,000km以内です。

コンプレッサー取り付けマニュアル

重要!

- コンプレッサーの交換には十分な知識、技術と設備が必要です。必ず専門整備士、業者に依頼してください。
コンプレッサー交換の際には、必ずレシーバードライヤー（アキュムレーター）、エキスパンションバルブも新品に交換してください。古い部品をそのまま使用すると、ゴミ、水分等の不純物が新しいコンプレッサーに入り込み、コンプレッサーの動作停止（マグネットクラッチが反応しない）や圧力異常等、初期不具合の要因になります。
古い部品を流用した場合は、保証対象外となります。

1) 事前点検

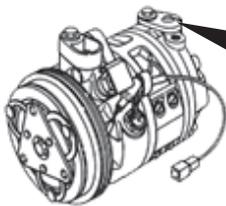
- 制御部品（サーモスイッチ、各センサー及び配線関係）を必ず事前に点検してください。
- 現在取り付けられているコンプレッサーの不具合原因を発見するまでは新しいコンプレッサーを取り付けしないでください。
- 必ず冷媒回収機を使用して、冷媒を回収してから作業を行ってください。
- オイルの色を確認してください。
オイル変色（混濁、黒色）の場合は、必ず全部のACループ部品を交換してください。

2) 同時交換

- 冷媒漏れ防止の為、必ずOリングは新品に交換してください。新品Oリングは少量のオイルを塗布してください。
- 必ずレシーバードライヤー（アキュムレーター）、エキスパンションバルブも新品に交換してください。

3) サービスキャップの取り外し、ガス抜き

- コンプレッサー内にはコンプレッサーオイルと防錆用として窒素ガスが封入されています。オイルの噴出防止の為、サービスキャップを徐々に緩めてください。



オイルコンプレッサーの噴出防止の為、サービスキャップは、徐々に緩めてください。

4) コンプレッサーオイルの管理

- 本製品は、エアコンサイクル全体の適正分量を封入して出荷しておりますので、オイルを追加する必要はありません。逆にオイル過多は、冷え不良の原因となります。

5) ACループ洗浄

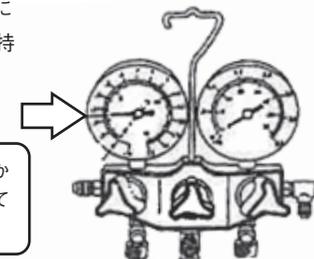
- 洗浄作業は故障理由に関わらず、必ず実施してください。
- コンデンサ、エバポレーター及び、配管ホース類の内部だけでなく、外部も洗浄してください。汚れが取り切れない場合は、新部品に交換してください。洗浄不足はゴミ等、不純物がコンプレッサーに入り込んで、コンプレッサーの動作停止（マグネットクラッチ反応しない）や圧力異常等、初期不具合の要因になります。洗浄不足によるクレームは保証対象外となります。

6) 車両へ装着

- ボルトは平均に締め付けてください。締め過ぎを防止する為、インパクトレンチは使用しないでください。
- 全ての配管接続部のOリング・シール類は新品に交換してください。
- 適切なベルトの張力に調整してください。ベルトの張り過ぎは、異音や早期不具合の要因となります。

7) 真空引き

- 冷媒封入前に（目安 45 分間）真空引き、最短 5 分間真空に保持して、気密性の検査を行ってください。気密性が維持出来ない場合は、再度点検・修正を行ってください。



気密性が維持できるかゲージでチェックしてください。

8) 冷媒封入

- 冷媒の種類は注意してください。冷媒缶は高圧ガス、取り扱いにご注意ください。
- 冷媒（ガス）は必ず適正量を充填してください。不十分な冷媒量は潤滑オイルの流れに影響し、コンプレッサーの焼付き・異音等、不具合の要因となります。冷媒の過充填は圧力異常になり、オイル（ガス）漏れ、冷房不良等、不具合の要因となります。

コア（使用済みコンプレッサー）の返却について

- 取り外したコンプレッサーは交換時に外したサービスキャップを再利用し、オイル漏れのないようしっかり取り付けから返却してください。
- 取り外したコンプレッサーと保証書（②発売元控のみ）を一緒に、お買い上げの商品の箱へ入れてご返却頂きますようお願い致します。又、返却の際には、同封の着払い送り状をご利用ください。